

研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

前歯部に限局した矯正治療が可能な症例の頻度に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年1月1日から2019年12月31日の期間に昭和大学歯科病院矯正歯科で歯科矯正診断のための検査を行った方

2. 研究目的・方法

歯科矯正治療にはマルチブラケット法矯正治療（ブラケットという小さい装置を個々の歯に接着し、そこにワイヤーを通して歯に矯正力をかけながらワイヤーが元の形状に戻ろうとする特性を利用した方法）やアライナー型矯正治療（取り外し可能なマウスピースタイプの矯正装置で、マルチブラケット装置に比較し、審美性に優れ、口腔衛生状況を良好に保つことが可能な装置）があります。これらの矯正治療には顎全体に矯正を行い噛む・発音するなどの機能性や審美性（見た目）な改善など、様々な利点がある反面、多くの時間と費用がかかるといった欠点もあります。

そのため、近年短期間で審美的改善の治療のみ行う限局矯正（上下顎の前歯6本のみ矯正）を希望される方が増えております。限局矯正では短期間で前歯の見た目を改善できますが、奥歯の位置は変わらないので歯並び全体の噛み合わせを整えることはできません。そのため、限局矯正を行う場合は詳細な矯正検査及び診断を行い、適応可能か診断が必要になります。

本研究では、昭和大学歯科病院の矯正歯科に通院し治療を行う患者さん全体から限局矯正で治療が完了する可能性のある症例がどのぐらいの存在するのか、その割合を知る研究を行うこととしました。

過去に当院で歯科矯正診断のための検査を行った方、もしくは矯正治療中に再評価のため資料採得を行った方の資料を使用させていただき調査を行います。

本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反（conflict of interest）はありません。利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間接的な関係を含むものです。

本研究は、昭和大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門が計画し実施する自主臨床研究であり製薬会社をはじめ、他の団体からの資金的援助に基づいて行われるものではありません。

研究期間

「昭和大学歯科病院臨床試験審査委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから2025年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2019年1月1日から2019年12月31日までの期間に昭和大学歯科病院矯正歯科を受診された患者さんの診療録より以下の資料・情報を使用します。

- ①患者背景(生年月日、年齢、性別、診断名、既往歴)
- ②臨床検査項目(口腔内診査、歯列模型、口腔内写真、顔面写真、CBCT、セファログラム、パノラマ写真、カルテ)

4. お問い合わせ先 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

所属：歯学部歯科矯正学講座（昭和大学歯科病院） 氏名：鄭 善化

住所：〒145-8515 大田区北千束 2-1-1 電話番号：03-3787-1151（内線 262）（9:00～17:00）

研究責任者：榎 宏太郎